

つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



会場には、コスプレイヤーがたくさん!!!



We are エーツクス!!

その昔、私がちょうど小学生だったころですが、バンドブームと呼ばれるものがありました。そんな中、顔にド派手な化粧を施し、ヘアスプレーを何本も使って長く伸ばした髪を逆立てる「ヴィジュアル系」と呼ばれるジャンルのバンドが登場してきます。当時このシーンを牽引していたのが「X JAPAN」です。同級生に熱狂的なファンが居て、CDを借りて初めて聞いたのが「サイレントジェラシー」という曲。ご存知ない方はぜひYouTubeで聞いてみてください。ピアノで曲

こんにちは、感動・創庫の芦川永光です。この時期はお客様やスタッフから、お菓子や旬のお野菜などをいただくことがあります。食欲の秋一色に染まった感動・創庫オフィスでは、いつも美味しいコーヒーをご用意してお客様をお迎えしています。ご商売のお困りごとをいつでもお気軽にお寄せください。そして、半ば強制的に食べ物をお召し上がっていただきますので、胃袋の余白をご用意してお越しくださいね(笑)。

青春時代の音楽を30年後、ライブで！
先日、日本中のヴィジュアル系バンドが集まる「ヴィジュアル・ジャパン・サミット」というイベントに行ってきました。3日間で10万人以上を動員した会場はオールスタンディングでぎゅうぎゅう詰め。様々なバンドが登場して朝9時から夜の11時まで大盛り上がり！汗だくになりながら、頭を振って、コブシを突き上げて、喉を枯らして大騒ぎしました。このイベントの発起人として、3日間ともトリを務めた「X JAPAN」。いつかライブを見たいと思っていた願いが叶いました。往年の名曲から新曲、バラードもあり、泣けるMCもありで約2時間。心からのありがとっ！とともに、手を合わせて拝んでいます。

が始めたので音量高めで聴いていたら、その後の展開に腰を抜かすほどびっくりして、それからぞっこん大好きになりました。紅白歌合戦に初出場した時は「時代がきた！」とテレビの前で正座して見ました。司会の堺マチャアキが啞然としているのを見て、「どやっ！」と視聴者ながら思ったのは私だけじゃないはず。

人の生き様の価値
人が集い創るライブの価値
ここ10年アルバムを出していない彼らの活動は、メンバーの死、解散、ヴォーカルの洗脳騒動など、ドラマのようないろんな紆余曲折をたどりました。音楽活動以外のことでこれほどの困難を経験しているバンドは、おそらくいないと思います。そんな彼らの生き様がそのまま声や音に乗って伝わってくるライブは、今までのどんなライブよりも泣けました。振り返って今キーボードを叩いているだけでも、感動がよみがえってきます。

CDが売れなくなった音楽業界は、ライブの時代に突入したと言われています。私たちビジネスに携わる人間にも、その兆候は現れているように感じます。ブログ、SNSなどの普及がやがて、リアルで人間が集う場所に価値を創り出し、そこでは日々ライブのビジネスチャンスが生まれています。人との出会いに豊かさが求められる今、私たちの仕事もライブ感を大切に、心に響く文化的な事業になるよう努めたいと思います。

料後納郵便

ゆうメール

株式会社 感動・創庫
kando-soko
〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103
TEL: 0463-79-9777
http://kando-soko.com
発行編集責任者: 芦川永光

心に響く感動の格言

何十年の平凡な
毎日よりも
一日でも、
一時間でもいいから
圧縮された
密度の濃い時を
過ごしたい



Words by YOSHIKI (X JAPAN)

X JAPANのリーダー、YOSHIKIの名言です。幾多の困難を乗り越え、バンド再結成までこぎつけた彼の言葉からは、日々の生活以上に、与えられた命について考えさせられます。

「生き急いでますよ。唐い無意味な時間なら必死だと思うけど、中途半端な無意味な時間は嫌なんです」と彼は言います。

自分の使命ってなんだろう？生まれてきた目的ってなんだろう？未来を全力で生きるためには、今この瞬間から、行動から変えていくことに尽きると思います。Xが生まれ出したとされるヴィジュアル系の決めゼリフ「気合入れてけー！」は、彼の密度の濃い人生を送る、覚悟の証かもしれません。

編集後記

40代を前に掲げる、命の目的



今回のつるのおんがえしは、30歳代最後の発行です。もともと振り返る内容が多いニュースレターですので、まには40歳から先、未来の目標についてお話しをしたいと思います。

のっけから言い訳がましいですが、最近忙しくて全く走っていません。来

年から、身体をもう一度フルマラソン仕様に仕上げ、以前公言をしていました、2018年のサハラマラソン出場を目指します。

自動運転技術の完成、ドローンの一般化、人工知能の開発など、仕事のあり様が変わってくる時代に、今から向き合わなくてはと感じまくっている

日々です。ポスティング業者さんに「ポスティングって無くないですかよね？」と同意を求められるんですが、うーんといつも悩みます。無くなりはないけど、必ず変化は迫られると思うからです。

対象を選ぶだけの広告はどんどん機械的になります。私たちが誇るアナログ広告の価値って、人の手で届ける情報にしかない価値に集約されて、今よりも文化的なものへ進化すると思っています。そしてここには、情報発信者の生き様が大きく関わってくるはず。地域情報の担い手として情報を選別する勇気や、飽和状態の情報

を減らす努力などを、人間力から磨き上げる必要を感じます。そして世界構想として私が目指すのは、優れた情報発信力を携えた「まちおこしの中心人物の発掘・育成」です。まちおこしのアイデアセンターとなつて、未来ある子供達を巻き込んでいきます。いつか、子供がなりたいたい職業ナンバーワンに、なんとという職業名が分かりませんが、「情報発信が出来るデザイナー」が来れば、私が生まれてきた意味も出てくるなあと感じます。

やりたいことは全部やる！の情熱を持って、ますます生き急いで突き進みます！



涼子の
気になっちゃう
広告！

大阪府警の求人広告

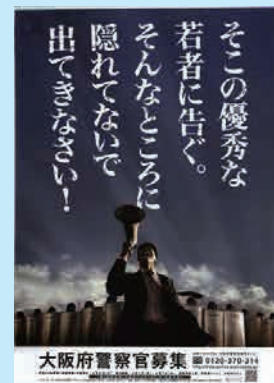
最近、どこの会社も求人に悩んでいますよね。今回は、面白い大阪府警察の警官募集のポスターを集めてみました。どれもインパクトがあり、ユーモアもあるポスターです。お堅いお仕事なので、そこを崩すとインパクトがグッと出ます。人の心に残る広告は、少しの勇気と冒険が大切ですね。



草食系より大阪府警



ごめんですんたら警察いらんわ!!



その優秀な若者に告ぐ。そんなところに隠れてないで出てきなさい！



返信できなくても正義の味方にはなれる。